

ペアレント・トレーニング

(株) エスエムティ 2025. 1月

だんだんと寒さが増していくなか、みなさん元気にお過ごしでしょうか？

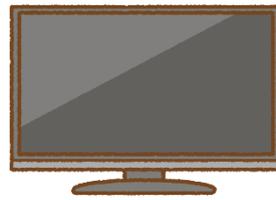
私たちも新たな気持ちで子ども達の成長を見守りながら一日一日の成長を大切に過ごしていきたいと思います。

さて、今回のテーマは…「**言葉づかい**」について、一緒に考えていきたいと思います。

●言葉遣いが乱れる時期や原因は??



幼稚園保育園の入園や
習い事などで新しい環
境になったとき



テレビ番組やユー
チューブなど

幼稚園から小学校低学年は、たくさんの言葉を吸収して覚えていく時期です。これは新しい人との出会いの中で様々な言葉に触れ、新たな知識を習得していることの証拠でもあります。新たに吸収した知識を活用してみようとするのは悪い事ではありません。外部から様々な知識を得て日々成長している証でもあります。



●対応方法●

★理由を含めて伝える★

ただ「そんな言葉を使ってはいけない！」や「やめなさい」と言うだけでは子どもはなぜ怒られているのか分かりません。怒られたために一時的に使うのをやめたとしても、理由を理解していないとまた使ってしまおうでしょう。例えば「キモい」「うざい」などは「自分がそんなこと言われたら、嫌な気持ちになるよね？〇〇くんもきっと同じだよ」「あなたがそんなこと言うと、ママも辛くなるよ」のように理由を含めて分かりやすく教えてあげましょう。

★別の表現の方法を教える★

乱暴な言葉遣いをする子には、別の表現方法を教えてあげるのも効果的です。子どもがどんな事を本当は伝えたいのかヒアリングできたら「そんな時はこう言えば良いんだよ」と正しい言葉の使い方を教えてあげる。例えば他者に「おまえ」などと言ってしまった場合は、「おまえじゃなくて相手の名前を呼ぼうね」等

★目を見て冷静に対応する★

子どもは新しい言葉を覚えたとき周りの反応を試したくなります。例えば下品な言葉などは一時的に面白がって使っているだけかもしれません。必死に止めたりするほど調子に乗ってしまうので、冷静に対応しましょう。一度ビシッと伝えた後は同じ事を言っても反応しないようにしてみましょう。

一度注意しただけで子どもの言葉遣いを直そうとしても難しいものですよね。根気が必要になりますが長い目で子どもの成長と一緒に見守っていきましょう。

